

那珂川水系 宮川

# 寺山ダム



栃木県県土整備部

矢板土木事務所ダム管理部

寺山ダム管理所

〒329-2162 矢板市末広町3-4  
☎ 0287-43-5224 (代)

〒329-2514 矢板市長井字石切場  
☎ 0287-43-5431



## 寺山ダムの概要

宮川は、栃木県矢板市の北西部高原山系の1つミツモチ山(標高1,248m)に源を発して、矢板市長井を南下し、矢板市南西部で築目川を合流して、矢板市南部で内川に合流した後に、さくら市(喜連川)地内で荒川に合流する延長28.1km<sup>2</sup>、流域面積142.0km<sup>2</sup>の一級河川であります。

寺山ダムは、宮川・内川の洪水調節、流水の正常な機能の維持(矢板市・さくら市への不特定かんがい用水)、さらには矢板市に対する上水道用水の確保を目的として、昭和47年度に実施計画調査に着手、昭和51年度に建設工事に着工、昭和59年度に総事業費約150億円をもって完成した多目的ダムであります。

## 寺山ダムの目的

### (1) 洪水調節

寺山ダムサイトにおける計画高水流量127m<sup>3</sup>/s (1/80)のうち91m<sup>3</sup>/sの調節を行い、36m<sup>3</sup>/sに低減して自然越流します。これにより矢板市木幡地先の内川橋地点の基本高水流量639m<sup>3</sup>/sを、550m<sup>3</sup>/sに低減します。

### (2) 流水の正常な機能の維持

ダム地点下流域の既得用水の補給を行うとともに、河川景観と生態系の生息環境を保全するために必要な流量を補給します。

### (3) 上水道用水

矢板市への水道用水として、8,640m<sup>3</sup>/日 (0.1m<sup>3</sup>/s) をダム地点において取水が可能となるよう用水を補給します。

## 曝気循環装置について

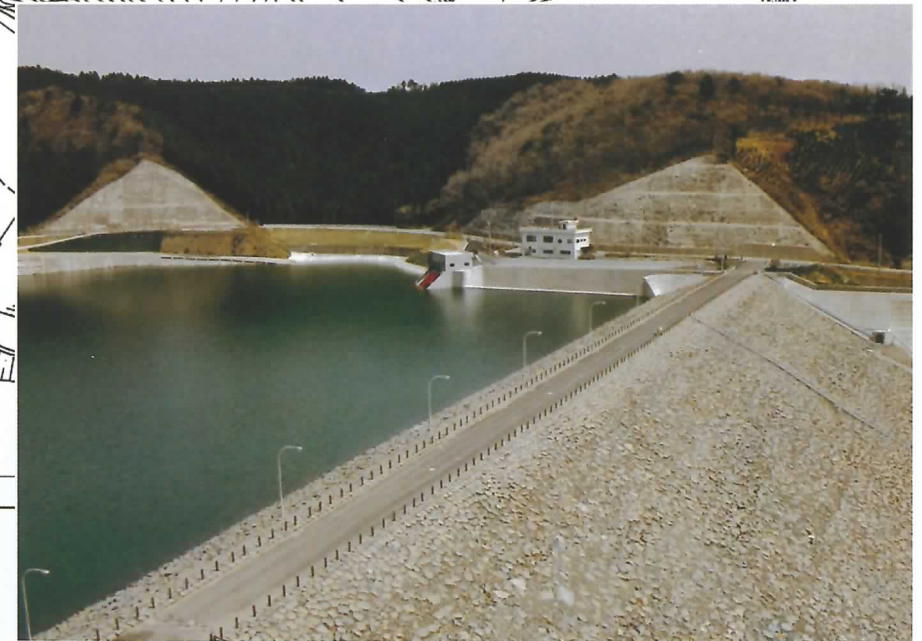
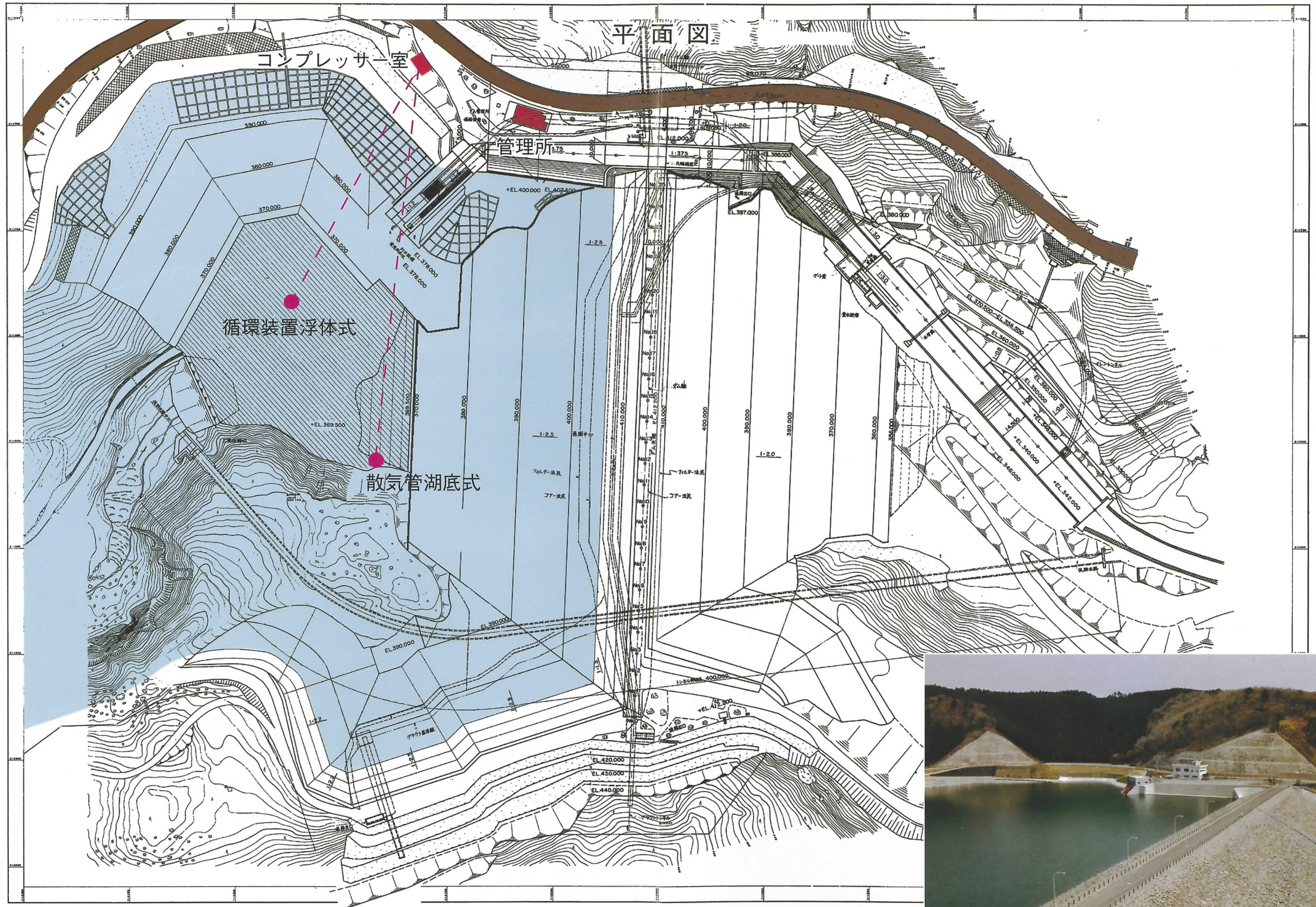


ダムは大量の水を貯水するため、常に水が流れる河川とは異なり、水の循環が停滞しがちです。このため、水中の植物プランクトンが異常増殖し、貯水池の水を汚してしまうことがあります。

寺山ダムでは、ダム貯水池内に空気を送り込み、水の循環を促進させることにより、植物プランクトンの増殖を抑制させる曝気装置を設置しています。

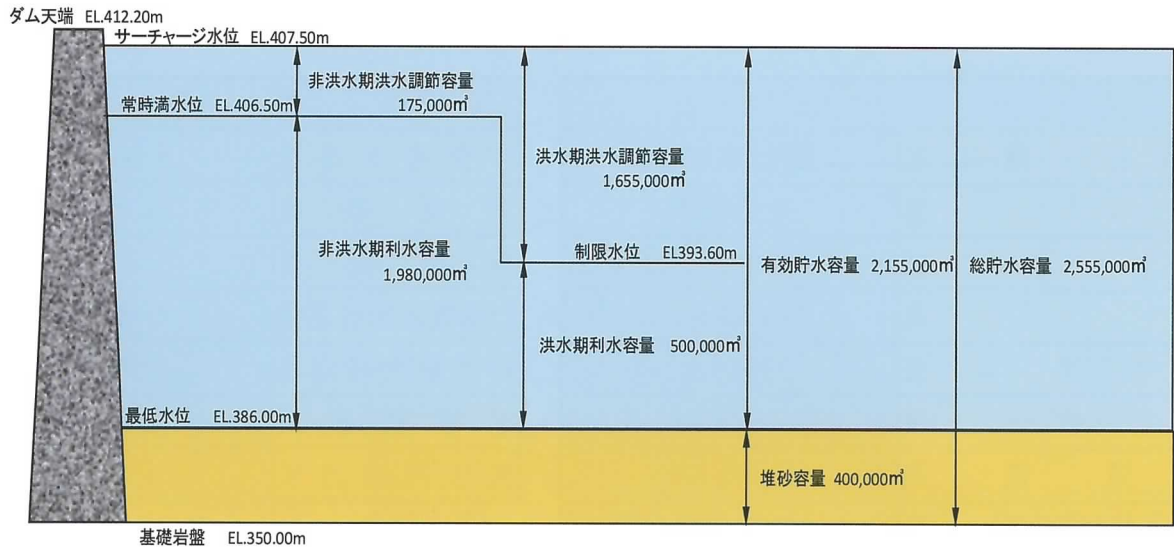




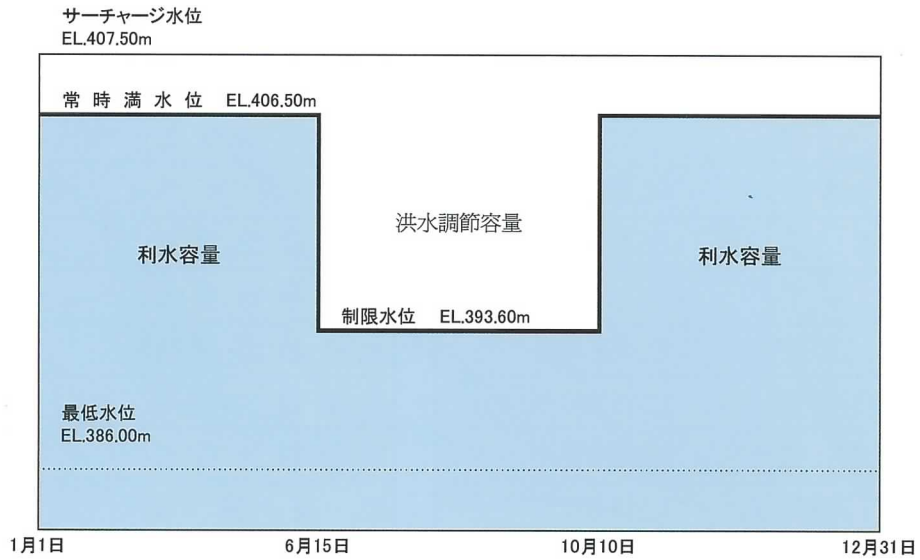




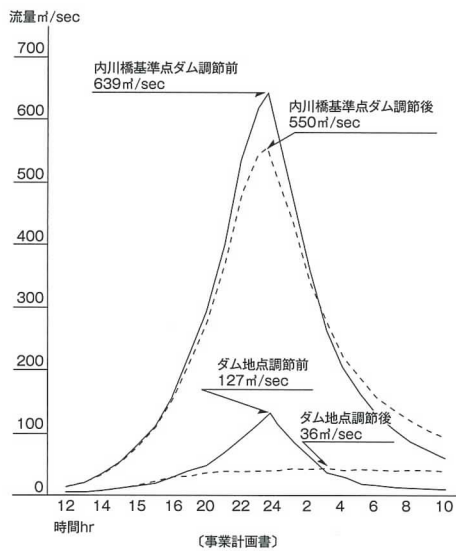
# 貯水池容量配分図



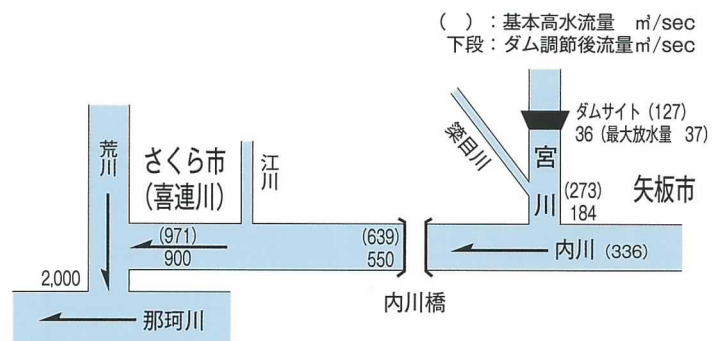
# 貯水池利用計画図



# 洪水調節図



# 計画流量配分図



# 寺 山 ダ ム 諸 元

ダ ム	
水系名・河川名	那珂川水系宮川
位 置	矢板市長井
形 式	センターコア型ロックフィルダム
堤 高	62.2 m
堤 頂 長	260.0 m
堤 体 積	1,350,000 m <sup>3</sup>
堤 頂 標 高	EL.412.20m
基 礎 標 高	EL.350.00m
堤 頂 幅	10.0m

治 水 計 画	
計 画 高 水 流 量	127m <sup>3</sup> /s
計 画 規 模	1/80
調 節 流 量	91m <sup>3</sup> /s
計 画 高 水 時 放 流 量	36m <sup>3</sup> /s
計 画 最 大 放 流 量	37m <sup>3</sup> /s
治 水 基 準 点	内川橋地点
洪 水 調 節 方 式	自然調節

上 水 道 計 画	
取 水 計 画	8,640m <sup>3</sup> /日(0.1m <sup>3</sup> /s)

貯 水 池		
集 水 面 積	11.5 km <sup>2</sup>	
湛 水 面 積	0.16 km <sup>2</sup>	
サ ー チ ャ ー シ 水 位	EL.407.50m	
常 時 満 水 位	EL.406.50m	
制 限 水 位	EL.393.60m	
最 低 水 位	EL.386.00m	
総 貯 水 容 量	2,555,000 m <sup>3</sup>	
有 効 貯 水 容 量	2,155,000 m <sup>3</sup>	
洪 水 調 節 容 量	洪水期	1,655,000 m <sup>3</sup>
	非洪水期	175,000 m <sup>3</sup>
利 水 容 量	洪水期	500,000 m <sup>3</sup>
	非洪水期	1,980,000 m <sup>3</sup>
堆 砂 容 量	400,000 m <sup>3</sup>	
最 大 水 深	57.5m	
有 効 水 深	21.5m	

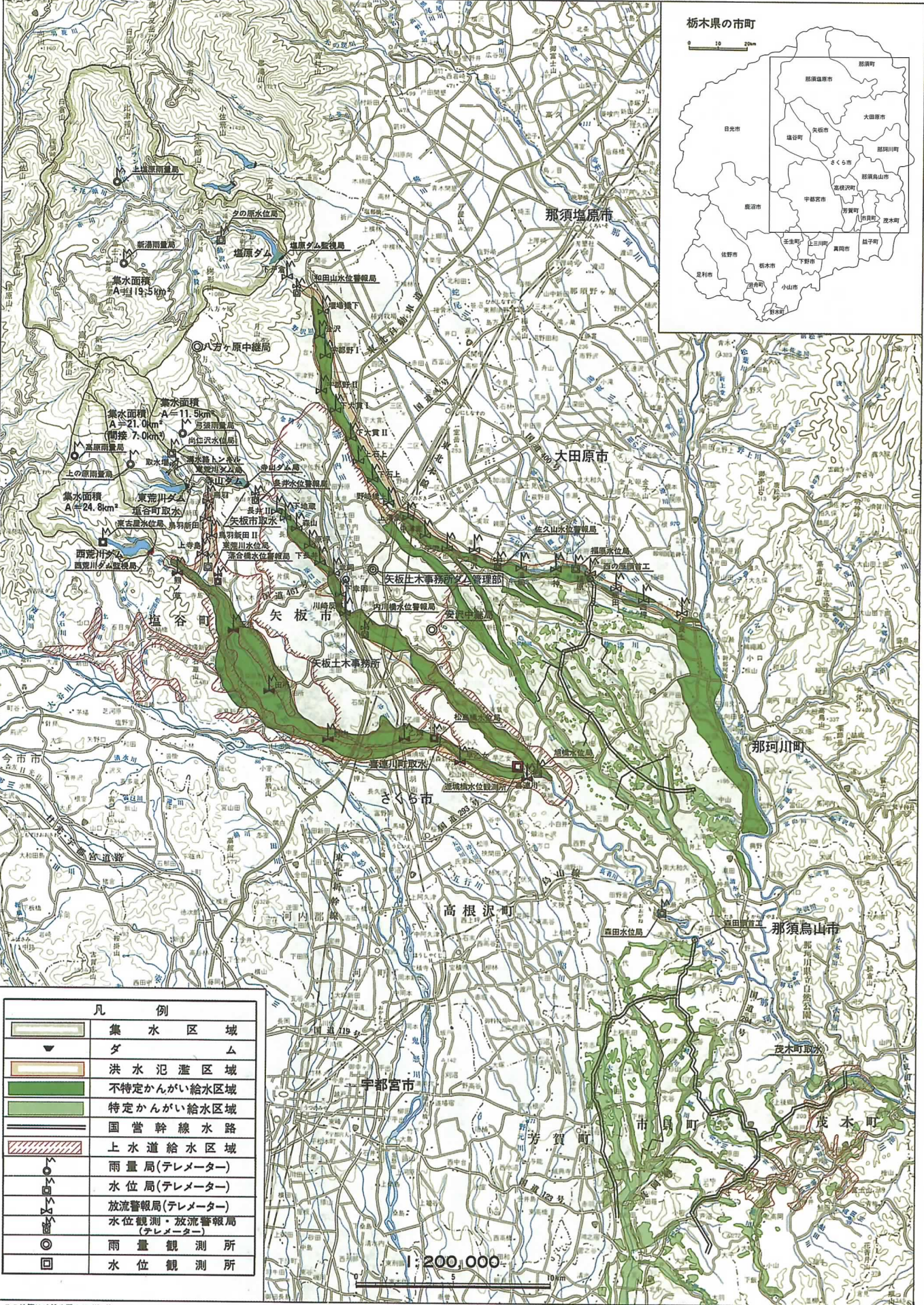
管 理 設 備	
非 常 用 洪 水 吐	W55.0m×H2.5m×1門
常 用 洪 水 吐	φ1,900mm×1門
利 水 放 流 設 備	φ450mm×1基
放 流 警 報 設 備	11局
水 位 観 測 設 備	4局
雨 量 観 測 設 備	2局
地 震 観 測 設 備	1式
繫 船 設 備	1基
監 視 力 メ ー ー 設 備	2台
予 備 発 電 設 備	1台

曝 気 装 置	
曝 気 循 環 装 置	浮体式(浮島構造)×1基
	散気管湖底式×1基
空 気 供 給 装 置	7.4Kw×2基
供 給 空 気 量	800 l / min

事 業 経 緯	
実 調 着 手 年 度	昭和47年度
建 設 事 業 着 手 年 度	昭和51年度
竣 工 年 度	昭和59年度
総 事 業 費	約150億円



# 那珂川水系ダム位置図



凡 例	
	集水区域
	洪水氾濫区域
	不特定かんがい給水区域
	特定かんがい給水区域
	国営幹線水路
	上水道給水区域
	雨量局(テレメーター)
	水位局(テレメーター)
	放流警報局(テレメーター)
	水位観測・放流警報局(テレメーター)
	雨量観測所
	水位観測所

この地図は建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。承認番号 平4 関復第582号